

令和6年度山口県介護施設 SAFE 協議会を開催しました

山口労働局（局長 友住弘一郎）は、令和7年1月15日、増加傾向にある転倒災害等の行動災害の減少を目的として、令和6年度「山口県介護施設 SAFE 協議会」を開催しました。

「山口県介護施設 SAFE 協議会」は、転倒、腰痛等の労働災害が増加傾向にある介護施設について、それぞれ管内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員として、令和5年度（開催状況）から開催しているもので、構成員が取り組んでいる労働災害防止に向けた好事例を同業種に周知することなどにより、労働災害の減少を図るものです（協議会の内容）。

事務局から労働災害発生状況等の説明を行った後、「製造業における安全（腰痛・転倒防止）対策」について、UBE 株式会社宇部ケミカル工場山内健治様、白石彩花様から、「滑りにくい靴と腰痛保護商品」について、転倒防止の靴や腰部保護商品の詳細をミドリ安全株式会社中藤晴喜様から、ご説明をいただきました。

特に、UBE 株式会社の理念「安全はすべてに優先する」を共通の価値観とし、職場と地域社会に安全と安心を提供することを行動指針とすること、製造業の安全管理、VR を活用した労働災害防止・転倒対策の説明には多くの参加者が話に聞き入っていました。



UBE 株式会社山内様、白石様による講演「製造業における安全（腰痛・転倒防止）対策」の様子



ミドリ安全株式会社山内様による講演「滑りにくい靴と腰痛保護商品」の様子



構成員による意見交換の様子

その後、構成員が取り組んでいる労働災害防止の取組みについて意見交換を行いました。中でも、山口大学の奥田教授から「転倒災害についても実際には、訪問先で転倒するなど介護事業者の管理下でない場所や環境で発生しているケースも相当数あるものと思われ、介護事業者として効果的な対策を講じえないケースも相当数あるのが現実であると思われる。」との指摘もありました。

山口労働局としては、高齢労働者の就業機会が増加するなか、社会福祉施設が労働災害防止活動に取り組むことで、より安全・安心に就業できる職場となるよう、周知啓発資料の作成、現場視察や専門家講演などのイベントも検討してまいります。

<山口県介護施設 SAFE 協議会構成員（アドバイザー含む）>

- ・ 社会福祉法人松美会、社会福祉法人ひとつの会、社会福祉法人くだまつ平成会
医療法人松栄会、社会福祉法人正清会
- ・ 社会福祉法人山口県社会福祉協議会、山口県老人福祉施設協議会
山口県社会福祉法人経営者協議会、日本認知症グループホーム協会山口県支部
山口県デイサービスセンター協議会、山口県訪問介護事業所連絡協議会
介護労働安定センター山口支部、山口県介護福祉士会、山口県健康福祉部長寿社会課
日本労働安全衛生コンサルタント会山口支部、山口県労働基準協会
山口産業保健総合支援センター、山口県理学療法士会、山口大学大学院創成科学研究科
- ・ 山口労働局（職業安定部・労働基準部健康安全課（事務局））

